

# 第50回 中央区政世論調査

## 概要版

令和2年9月実施

### 【調査の項目】

- |            |             |
|------------|-------------|
| 1 定住性      | 7 防犯対策      |
| 2 防災対策     | 8 スポーツ      |
| 3 健康診査     | 9 築地魚河岸     |
| 4 高齢者施策    | 10 広報       |
| 5 子育て支援    | 11 施策の要望・評価 |
| 6 男女共同参画社会 |             |

【調査対象】中央区に居住する満18歳以上の男女個人（外国籍の方を除く）

【対象者】2,000人

【抽出方法】無作為抽出法

令和2年8月1日現在の住民基本台帳に登録された  
満18歳以上の男女136,944人から一定の割合で系統的に抽出

【調査方法】郵送法（郵送に準じた配布・郵送回収）

【調査時期】令和2年9月4日（金）～10月14日（水）

【調査機関】株式会社エスピー研

【回収結果】回収数 1,161 回収率 58.1%

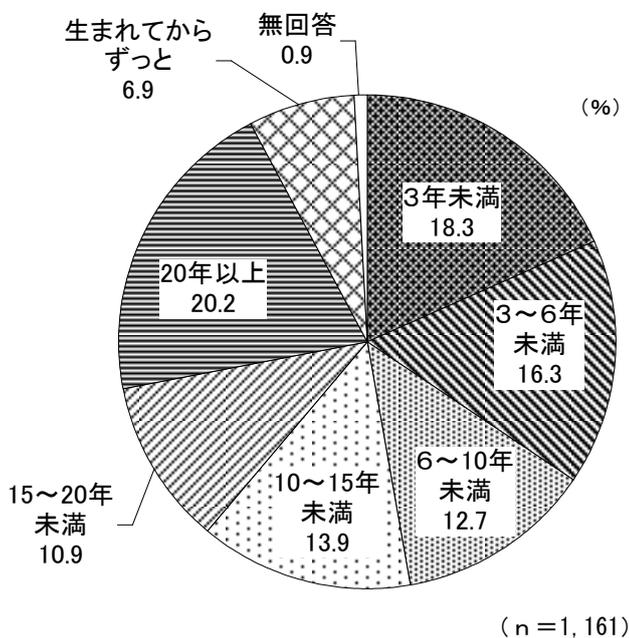


# 1 定住性

## ■ 居住年数

『短期居住者』（「3年未満」と「3～6年未満」の合計）は34.6%で3割台半ばとなっている。『中期居住者』（「6～10年未満」、「10～15年未満」および「15～20年未満」の3つの合計）は37.5%で4割近く、『長期居住者』（「20年以上」と「生まれてからずっと」の合計）は27.1%で3割近くとなっている。

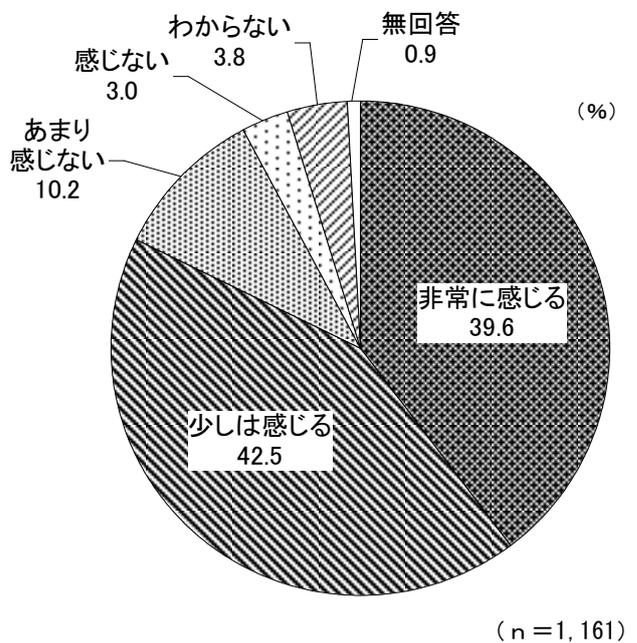
過去の調査結果と比較すると、平成26年以降大きな傾向の違いはみられない。



## ■ 愛着心

『感じる』（「非常に感じる」と「少しは感じる」の合計）は82.1%で8割を超えている。一方、『感じない』（「あまり感じない」と「感じない」の合計）は13.2%で1割を超えている。

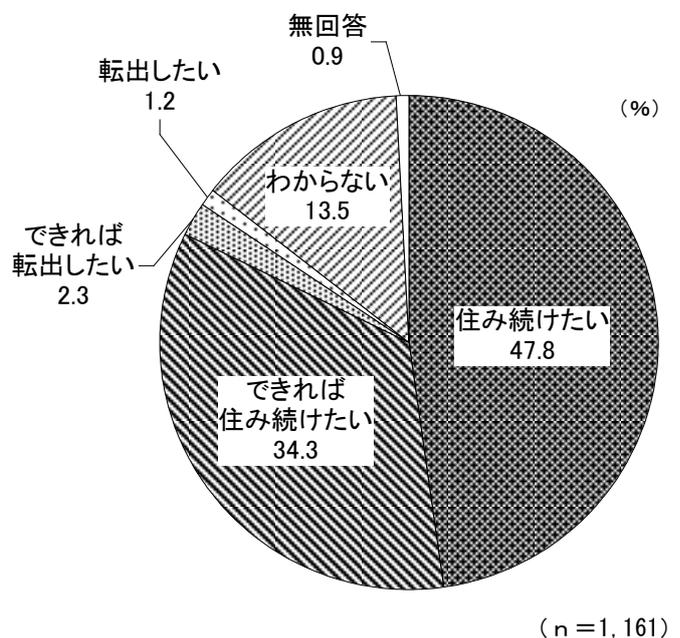
過去の調査結果と比較すると、『感じる』は平成18年以降8割台で推移している。



## ■ 定住意向

『定住意向』（「住み続けたい」と「できれば住み続けたい」の合計）は82.1%で8割を超えている。一方、『転出意向』（「できれば転出したい」と「転出したい」の合計）は3.5%にとどまっている。

過去の調査結果と比較すると、『定住意向』は令和元年と比べて5.0ポイント減少しているものの、昭和63年以降8割台で推移している。

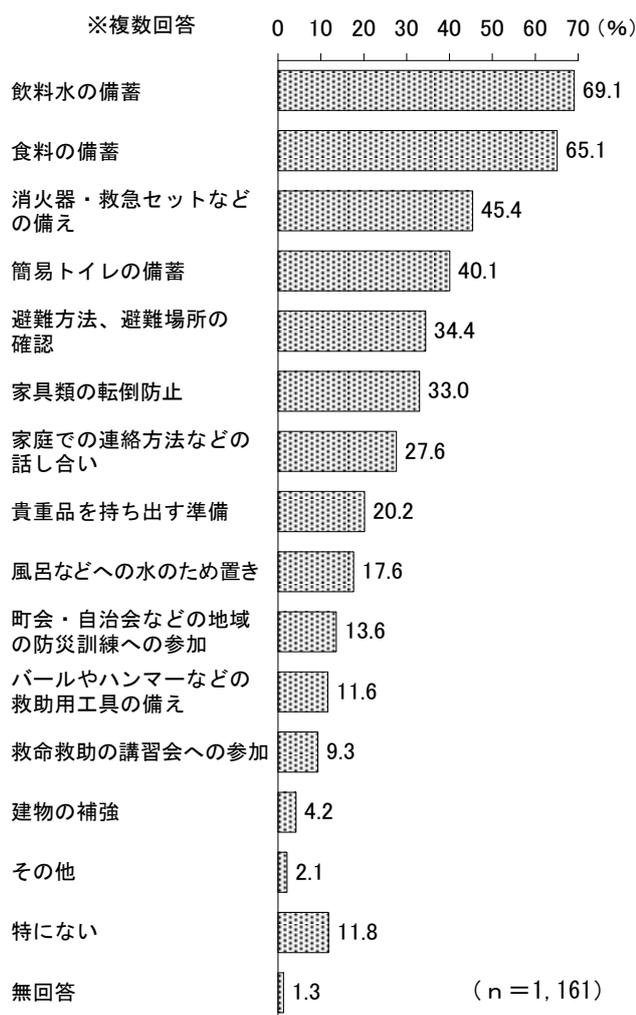


## 2 防災対策

### ■家庭での災害に対する備え

「飲料水の備蓄」(69.1%)が約7割で最も高くなっている。次いで、「食料の備蓄」(65.1%)、「消火器・救急セットなどの備え」(45.4%)、「簡易トイレの備蓄」(40.1%)、「避難方法、避難場所の確認」(34.4%)、「家具類の転倒防止」(33.0%)などとなっている。

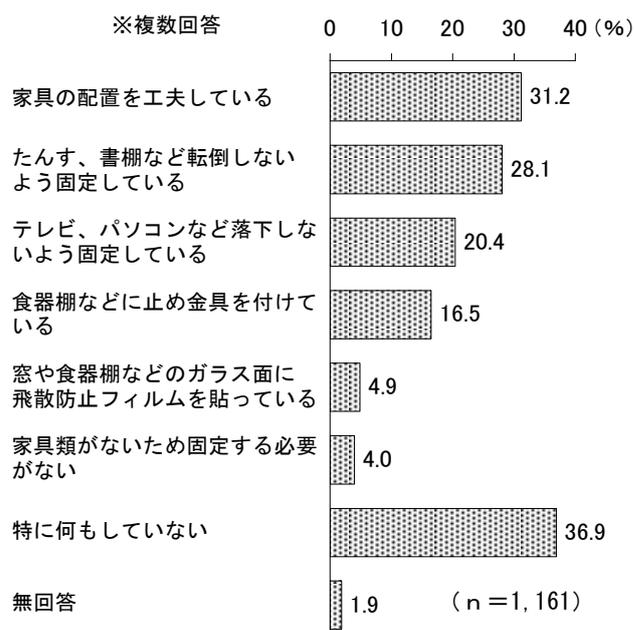
昨年の調査結果と比較すると、「食料の備蓄」は5.6ポイント増加している。一方、「消火器・救急セットなどの備え」は4.1ポイント、「家具類の転倒防止」は3.6ポイント、「救命救助の講習会への参加」は3.3ポイント、それぞれ減少している。



### ■家具の転倒、ガラスの飛散などに対する備え

「家具の配置を工夫している」(31.2%)が3割を超えて最も高くなっている。次いで、「たんす、書棚など転倒しないよう固定している」(28.1%)、「テレビ、パソコンなど落下しないよう固定している」(20.4%)、「食器棚などに止め金具を付けている」(16.5%)などとなっている。一方、「特に何もしていない」(36.9%)は4割近くとなっている。

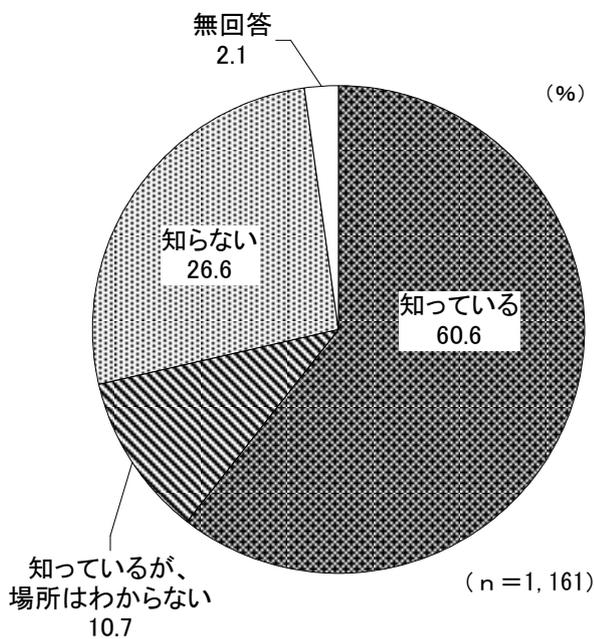
昨年の調査結果と比較すると、「特に何もしていない」は4.0ポイント増加している。また、「たんす、書棚など転倒しないよう固定している」は3.3ポイント減少している。



## ■防災拠点の認知度

「知っている」(60.6%)が約6割で最も高くなっている。「知っているが、場所はわからない」(10.7%)は約1割で、「知らない」(26.6%)は3割近くとなっている。

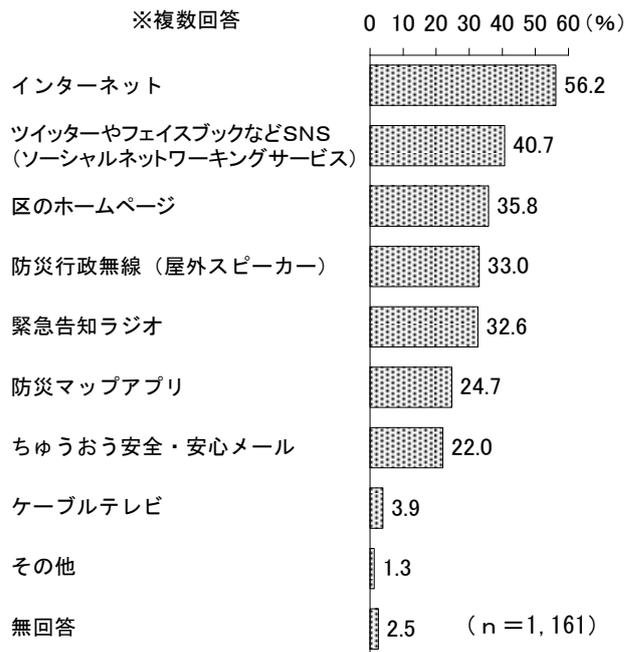
過去の調査結果と比較すると、「知っている」は令和元年と比べて7.1ポイント減少しているものの、平成28年以降6割台で推移している。



## ■災害情報を得る手段として有効だと思うもの

「インターネット」(56.2%)が5割台半ばで最も高くなっている。次いで、「ツイッターやフェイスブックなどSNS(ソーシャルネットワーキングサービス)」(40.7%)、「区のホームページ」(35.8%)、「防災行政無線(屋外スピーカー)」(33.0%)、「緊急告知ラジオ」(32.6%)などとなっている。

昨年の調査結果と比較すると、「区のホームページ」は7.1ポイント増加している。一方、「防災行政無線(屋外スピーカー)」は5.1ポイント減少している。

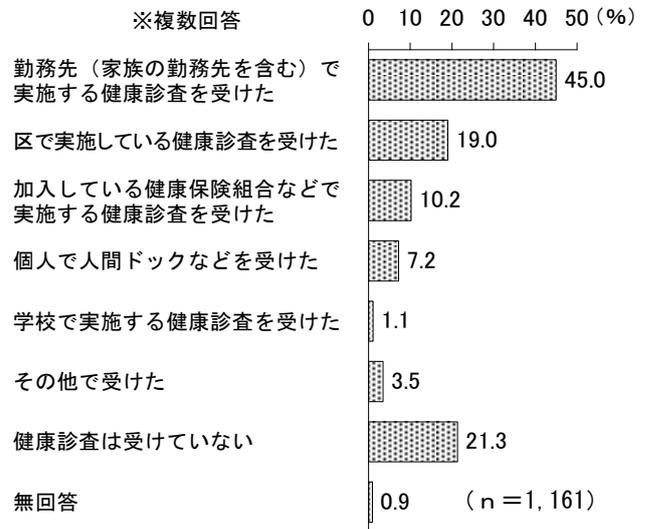


### 3 健康診査

#### ■健康診査の受診状況

「勤務先（家族の勤務先を含む）で実施する健康診査を受けた」（45.0%）が4割台半ばで最も高くなっている。次いで、「区で実施している健康診査を受けた」（19.0%）、「加入している健康保険組合などで実施する健康診査を受けた」（10.2%）、「個人で人間ドックなどを受けた」（7.2%）などとなっている。一方、「健康診査は受けていない」（21.3%）は2割を超えている。

昨年の調査結果と比較すると、「健康診査は受けていない」は4.8ポイント増加している。一方、「区で実施している健康診査を受けた」は6.3ポイント減少している。

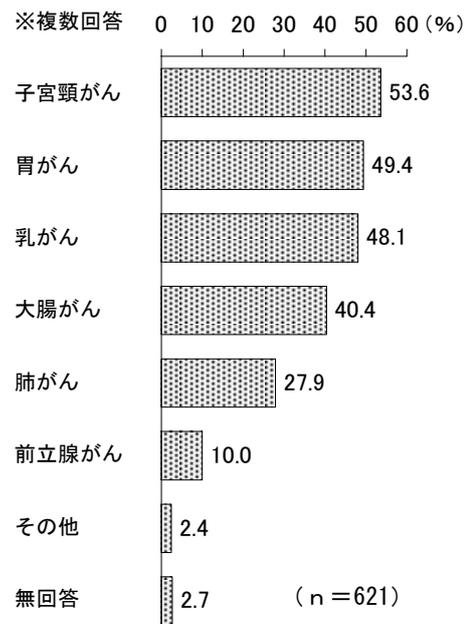
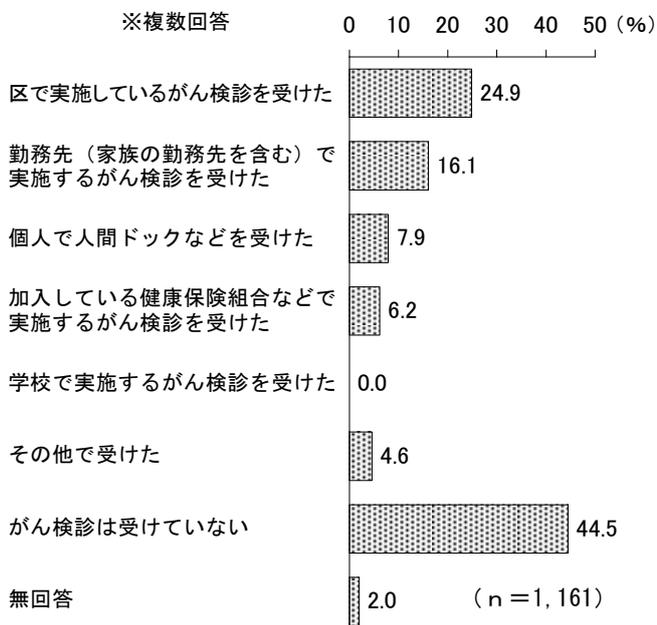


#### ■がん検診の受診状況

「区で実施しているがん検診を受けた」（24.9%）が2割台半ばで最も高くなっている。次いで、「勤務先（家族の勤務先を含む）で実施するがん検診を受けた」（16.1%）、「個人で人間ドックなどを受けた」（7.9%）、「加入している健康保険組合などで実施するがん検診を受けた」（6.2%）などとなっている。一方、「がん検診は受けていない」（44.5%）は4割台半ばとなっている。

#### ■受診したがん検診の種類

「子宮頸がん」（53.6%）が5割を超えて最も高くなっている。次いで、「胃がん」（49.4%）、「乳がん」（48.1%）、「大腸がん」（40.4%）、「肺がん」（27.9%）などとなっている。

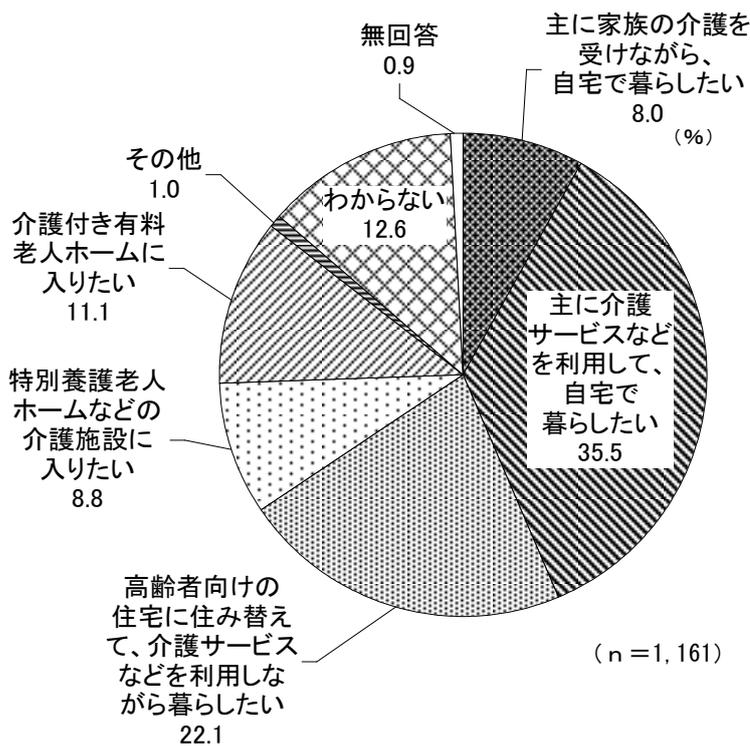


# 4 高齢者施策

## ■要介護時における暮らし方

「主に介護サービスなどを利用して、自宅で暮らしたい」(35.5%)が3割台半ばで最も高くなっている。次いで、「高齢者向けの住宅に住み替えて、介護サービスなどを利用しながら暮らしたい」(22.1%)、「介護付き有料老人ホームに入りたい」(11.1%)、「特別養護老人ホームなどの介護施設に入りたい」(8.8%)などとなっている。

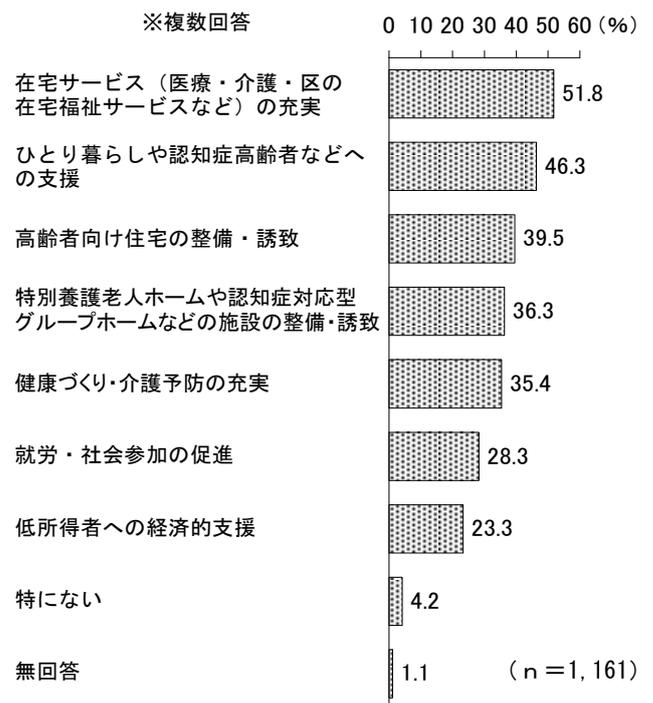
過去の調査結果と比較すると、「高齢者向けの住宅に住み替えて、介護サービスなどを利用しながら暮らしたい」は令和元年と比べて3.2ポイント減少している。



## ■区に望む高齢者保健福祉サービス

「在宅サービス(医療・介護・区の在宅福祉サービスなど)の充実」(51.8%)が5割を超えて最も高くなっている。次いで、「ひとり暮らしや認知症高齢者などへの支援」(46.3%)、「高齢者向け住宅の整備・誘致」(39.5%)、「特別養護老人ホームや認知症対応型グループホームなどの施設の整備・誘致」(36.3%)、「健康づくり・介護予防の充実」(35.4%)などとなっている。

昨年の調査結果と比較すると、大きな傾向の違いはみられない。

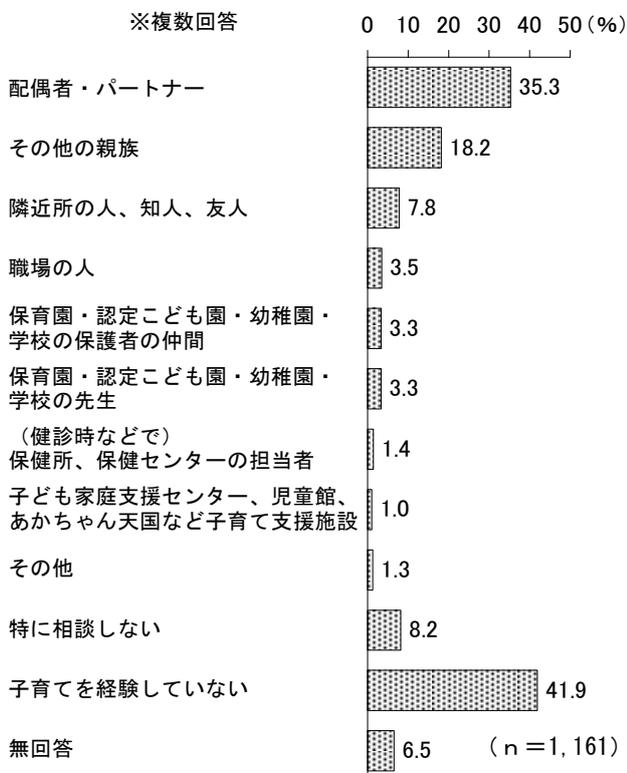


# 5 子育て支援

## ■ 子育てに関する悩みの相談

「配偶者・パートナー」(35.3%)が3割台半ばで最も高くなっている。次いで、「その他の親族」(18.2%)、「隣近所の人、知人、友人」(7.8%)、「職場の人」(3.5%)などとなっている。

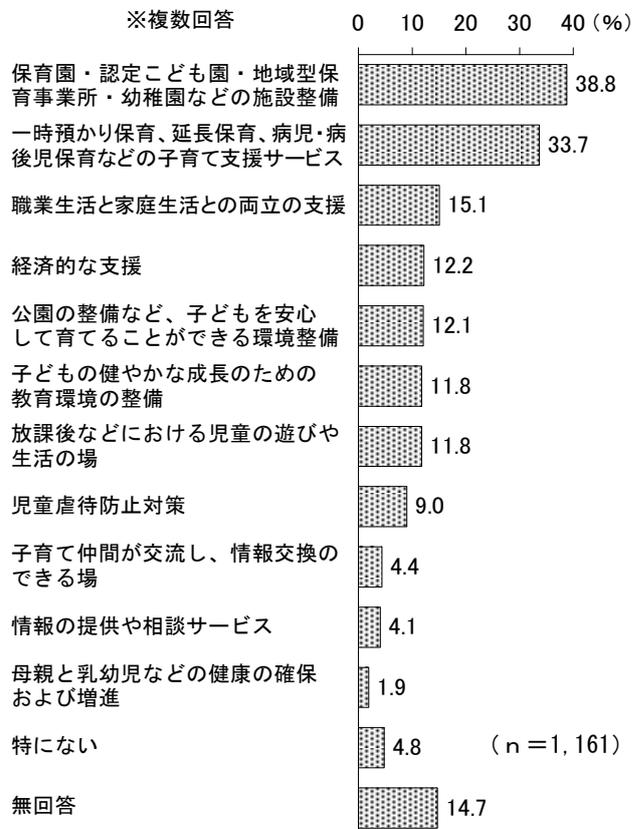
昨年の調査結果と比較すると、大きな傾向の違いはみられない。



## ■ 重要と考える子育て支援策

「保育園・認定こども園・地域型保育事業所・幼稚園などの施設整備」(38.8%)が4割近くで最も高くなっている。次いで、「一時預かり保育、延長保育、病児・病後児保育などの子育て支援サービス」(33.7%)、「職業生活と家庭生活との両立の支援」(15.1%)、「経済的な支援」(12.2%)、「公園の整備など、子どもを安心して育てることができる環境整備」(12.1%)などとなっている。

昨年の調査結果と比較すると、「経済的な支援」は4.7ポイント、「保育園・認定こども園・地域型保育事業所・幼稚園などの施設整備」は4.3ポイント、それぞれ増加している。一方、「一時預かり保育、延長保育、病児・病後児保育などの子育て支援サービス」は3.3ポイント減少している。

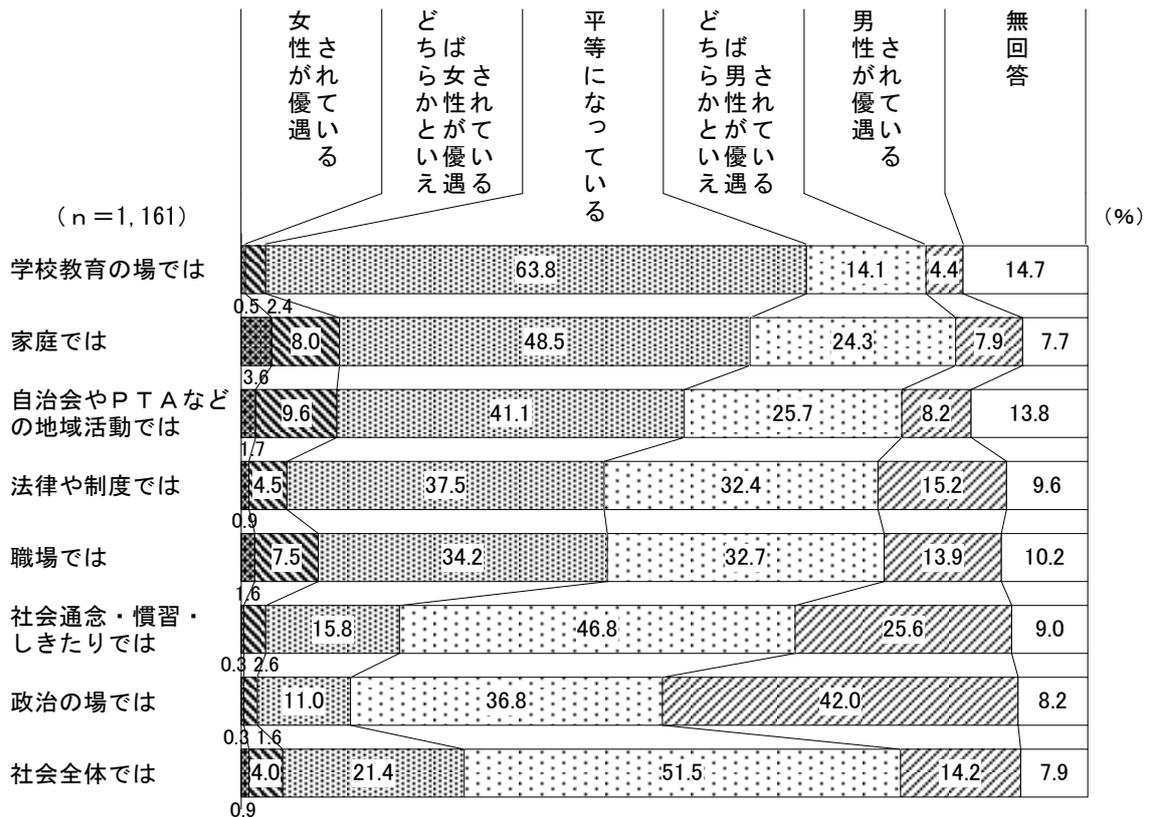


# 6 男女共同参画社会

## 男女の地位の平等感

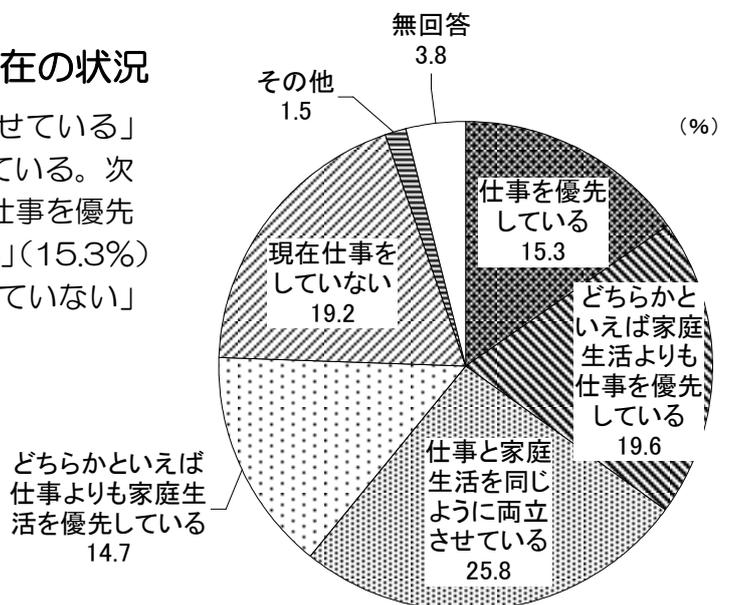
「平等になっている」と感じるのは、“学校教育の場では”（63.8%）で6割を超えて最も高く、次いで“家庭では”（48.5%）で5割近くとなっている。

「どちらかといえば男性が優遇されている」と「男性が優遇されている」を合わせた『男性が優遇されている』と感じるのは、“政治の場では”（78.8%）で8割近くと最も高く、次いで“社会通念・慣習・しきたりでは”（72.4%）で7割を超えている。



## ワーク・ライフ・バランスの現在の状況

「仕事と家庭生活を同じように両立させている」（25.8%）が2割台半ばで最も高くなっている。次いで、「どちらかといえば家庭生活よりも仕事を優先している」（19.6%）、「仕事を優先している」（15.3%）などとなっている。また、「現在仕事をしていない」（19.2%）は約2割となっている。



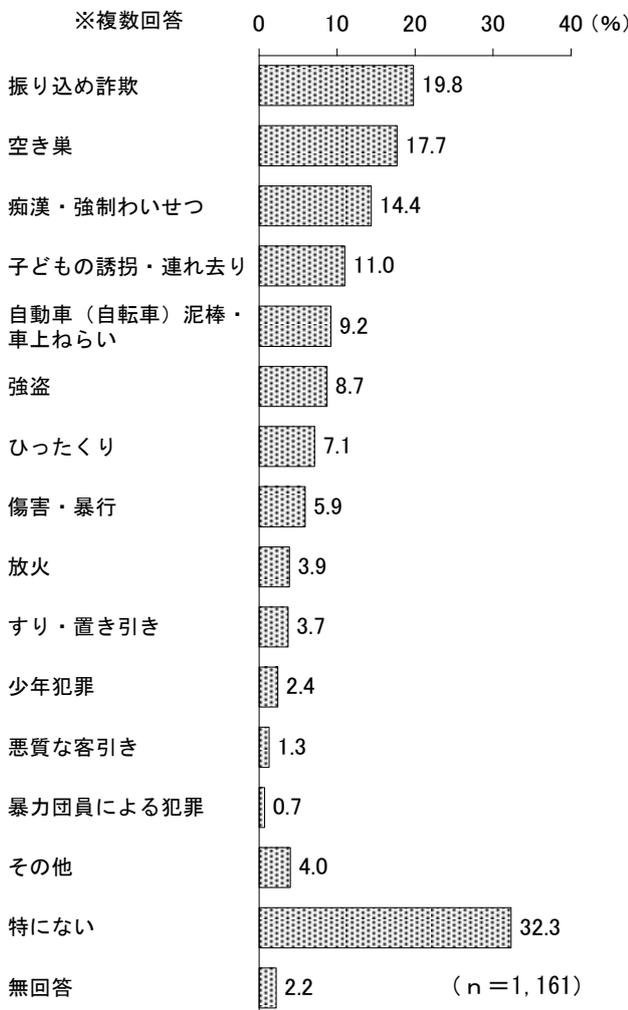
(n=1,161)

# 7 防犯対策

## ■不安に感じる犯罪

「振り込め詐欺」(19.8%)が2割となっている。次いで、「空き巣」(17.7%)、「痴漢・強制わいせつ」(14.4%)、「子どもの誘拐・連れ去り」(11.0%)、「自動車(自転車)泥棒・車上ねらい」(9.2%)などとなっている。一方、「特にない」(32.3%)は3割を超えている。

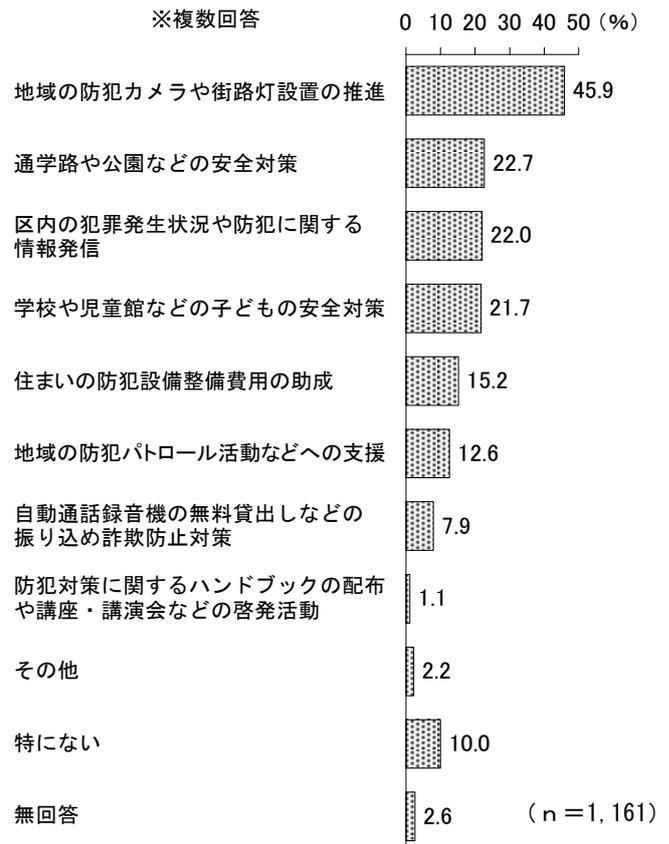
昨年の調査結果と比較すると、「痴漢・強制わいせつ」は3.6ポイント増加している。一方、「空き巣」は5.9ポイント減少している。



## ■区に特に力を入れてほしい施策

「地域の防犯カメラや街路灯設置の推進」(45.9%)が4割台半ばで最も高くなっている。次いで、「通学路や公園などの安全対策」(22.7%)、「区内の犯罪発生状況や防犯に関する情報発信」(22.0%)、「学校や児童館などの子どもの安全対策」(21.7%)、「住まいの防犯設備整備費用の助成」(15.2%)などとなっている。

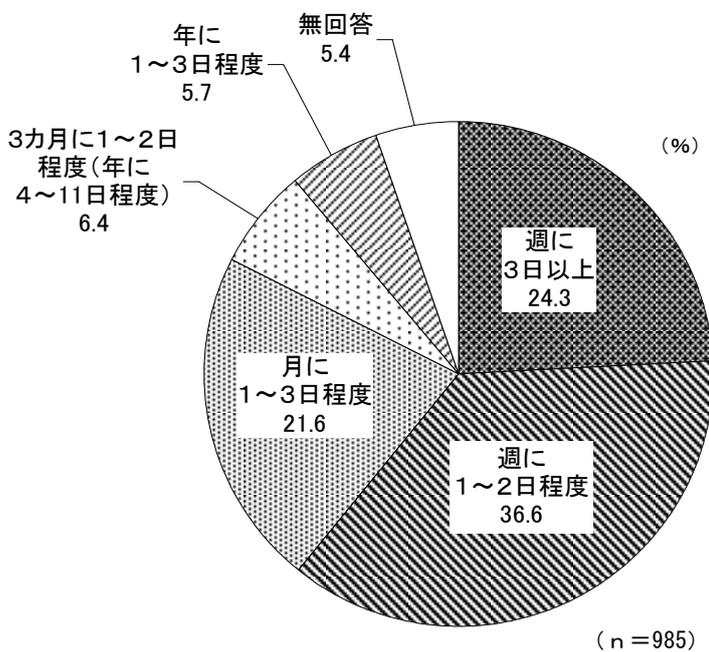
昨年の調査結果と比較すると、「住まいの防犯設備整備費用の助成」は3.3ポイント増加している。一方、「地域の防犯パトロール活動などへの支援」は3.4ポイント減少している。



## 8 スポーツ

### ■過去1年間に行ったスポーツや運動の頻度

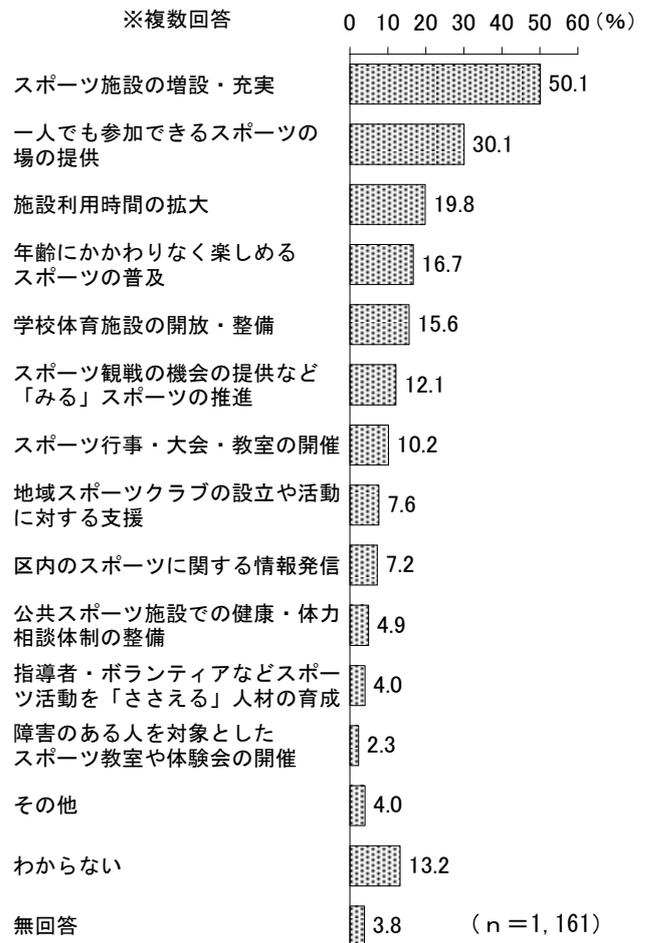
「週に1～2日程度」(36.6%)が4割近くで最も高くなっている。次いで、「週に3日以上」(24.3%)、「月に1～3日程度」(21.6%)、「3カ月に1～2日程度(年に4～11日程度)」(6.4%)などとなっている。



### ■スポーツへの参加機会を増やすために区に望むこと

「スポーツ施設の増設・充実」(50.1%)が5割で最も高くなっている。次いで、「一人でも参加できるスポーツの場の提供」(30.1%)、「施設利用時間の拡大」(19.8%)、「年齢にかかわらず楽しめるスポーツの普及」(16.7%)、「学校体育施設の開放・整備」(15.6%)などとなっている。

昨年の調査結果と比較すると、「スポーツ施設の増設・充実」は6.4ポイント増加している。

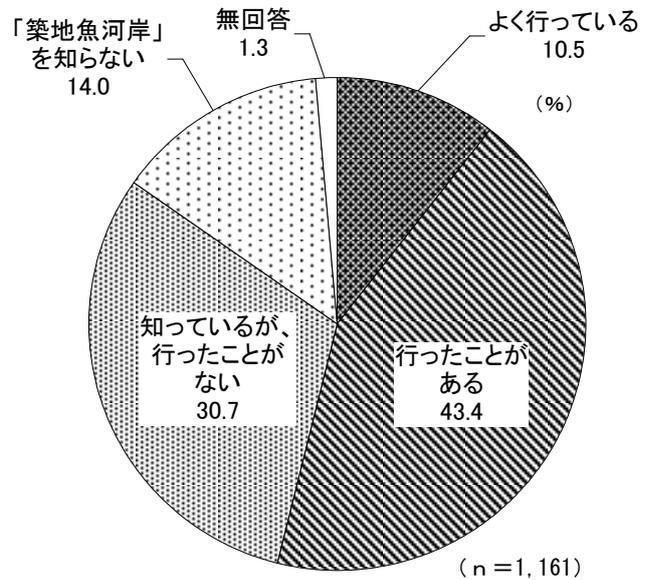


## 9 築地魚河岸

### ■「築地魚河岸」への来場経験

「よく行っている」(10.5%)と「行ったことがある」(43.4%)を合わせた『来場経験あり』(53.9%)が5割を超えている。一方、「知っているが、行ったことがない」(30.7%)は約3割で、『築地魚河岸』を知らない(14.0%)は1割台半ばとなっている。

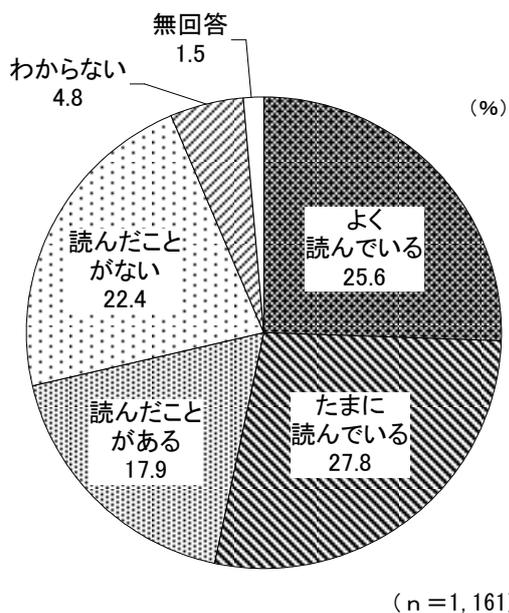
過去の調査結果と比較すると、『来場経験あり』は令和元年と比べて14.6ポイント増加しており、今回調査が過去最高の割合となっている。



## 10 広報

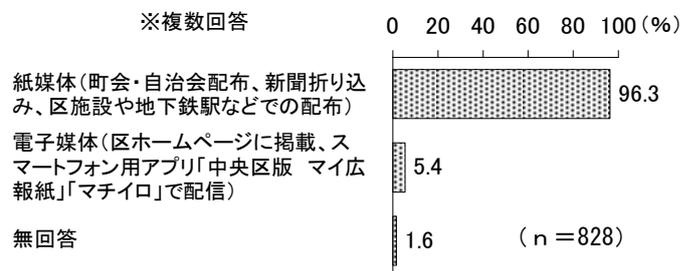
### ■広報紙の閲覧状況

『読んだことがある』(「よく読んでいる」、「たまに読んでいる」および「読んだことがある」の3つの合計)は71.3%で7割を超えている。一方、「読んだことがない」(22.4%)は2割を超えている。



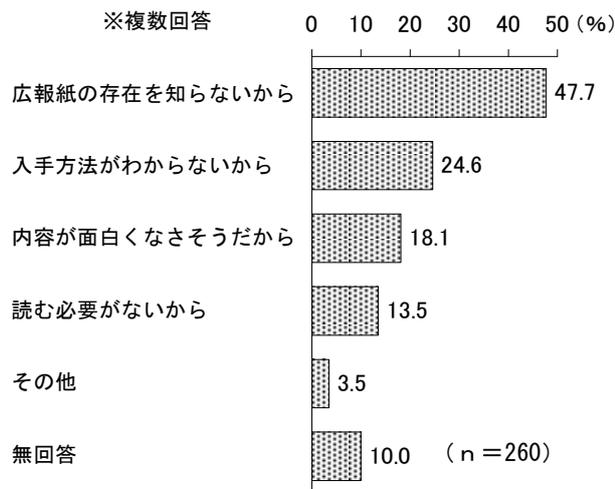
### ■広報紙の入手方法

「紙媒体(町会・自治会配布、新聞折り込み、区施設や地下鉄駅などでの配布)」(96.3%)が9割台半ばとなっている。また、「電子媒体(区ホームページに掲載、スマートフォン用アプリ『中央区版 マイ広報紙』『マチイロ』で配信)」(5.4%)は1割に満たない。



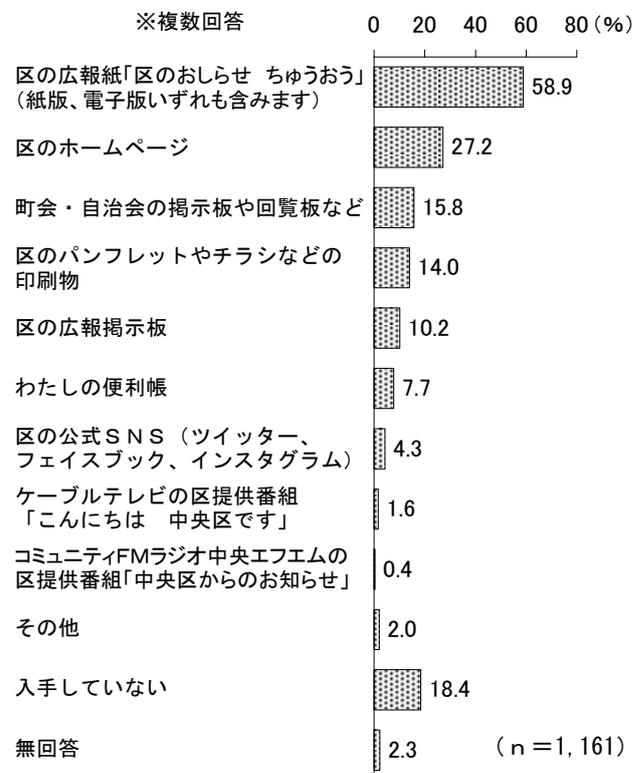
## ■ 広報紙を読まない理由

「広報紙の存在を知らないから」(47.7%)が5割近くで最も高くなっている。次いで、「入手方法がわからないから」(24.6%)、「内容が面白くなさそうだから」(18.1%)、「読む必要がないから」(13.5%)などとなっている。



## ■ 区政情報を得る手段

「区の広報紙『区のおしらせ ちゅうおう』(紙版、電子版いずれも含みます)」(58.9%)が6割近くで最も高くなっている。次いで、「区のホームページ」(27.2%)、「町会・自治会の掲示板や回覧板など」(15.8%)、「区のパンフレットやチラシなどの印刷物」(14.0%)、「区の広報掲示板」(10.2%)などとなっている。一方、「入手していない」(18.4%)は2割近くとなっている。



# 11 施策の要望・評価

## ■区の施策の満足度

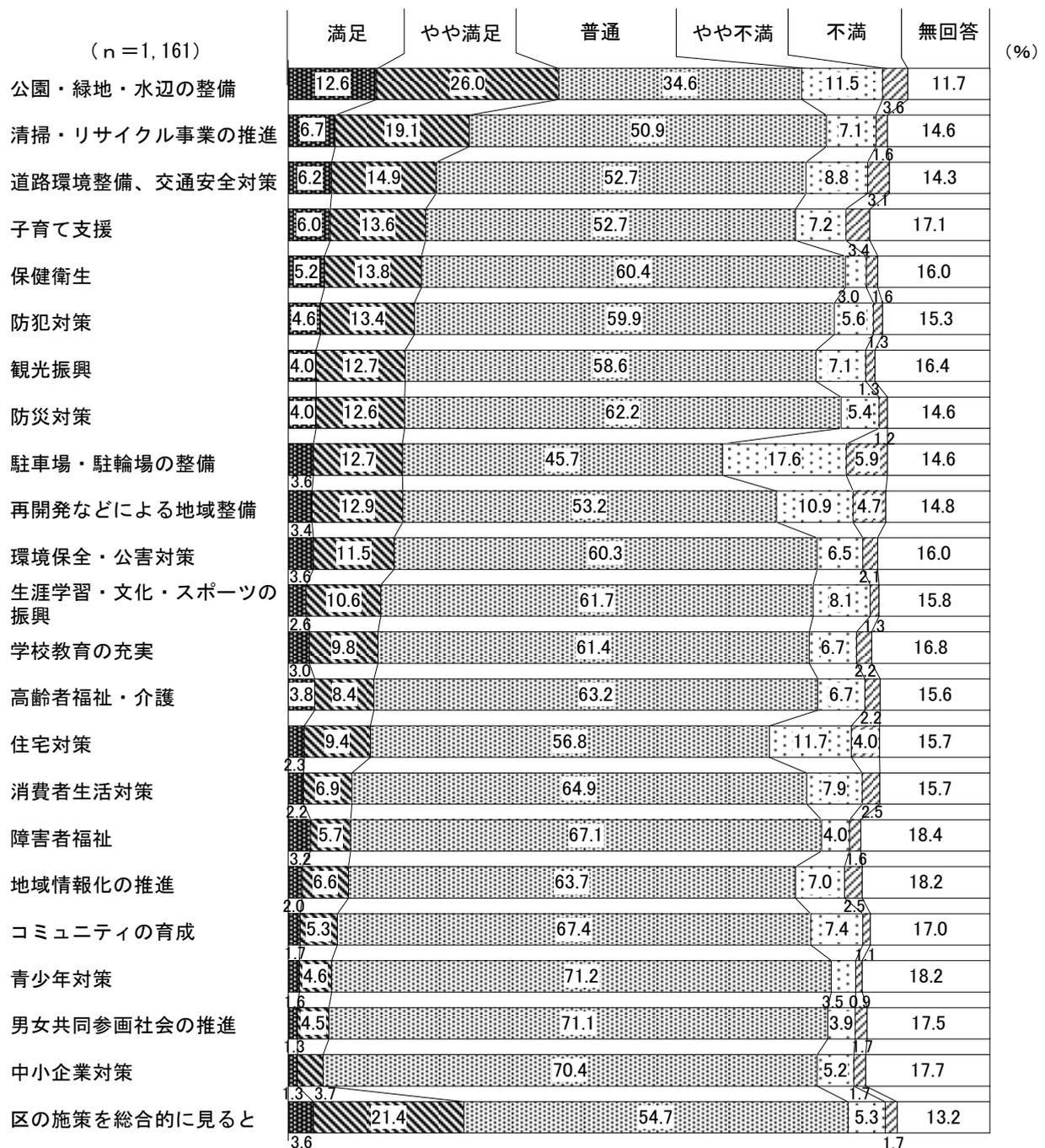
「満足」と「やや満足」の合計を『満足』とし、「やや不満」と「不満」の合計を『不満足』とした場合の、それぞれの上位5項目は次のようになっている。

『満足』

- ①公園・緑地・水辺の整備 (38.6%)
- ②清掃・リサイクル事業の推進 (25.8%)
- ③道路環境整備、交通安全対策 (21.1%)
- ④子育て支援 (19.6%)
- ⑤保健衛生 (19.0%)

『不満足』

- ①駐車場・駐輪場の整備 (23.5%)
- ②住宅対策 (15.7%)
- ③再開発などによる地域整備 (15.6%)
- ④公園・緑地・水辺の整備 (15.1%)
- ⑤道路環境整備、交通安全対策 (11.9%)



## ■区の施策の重要度

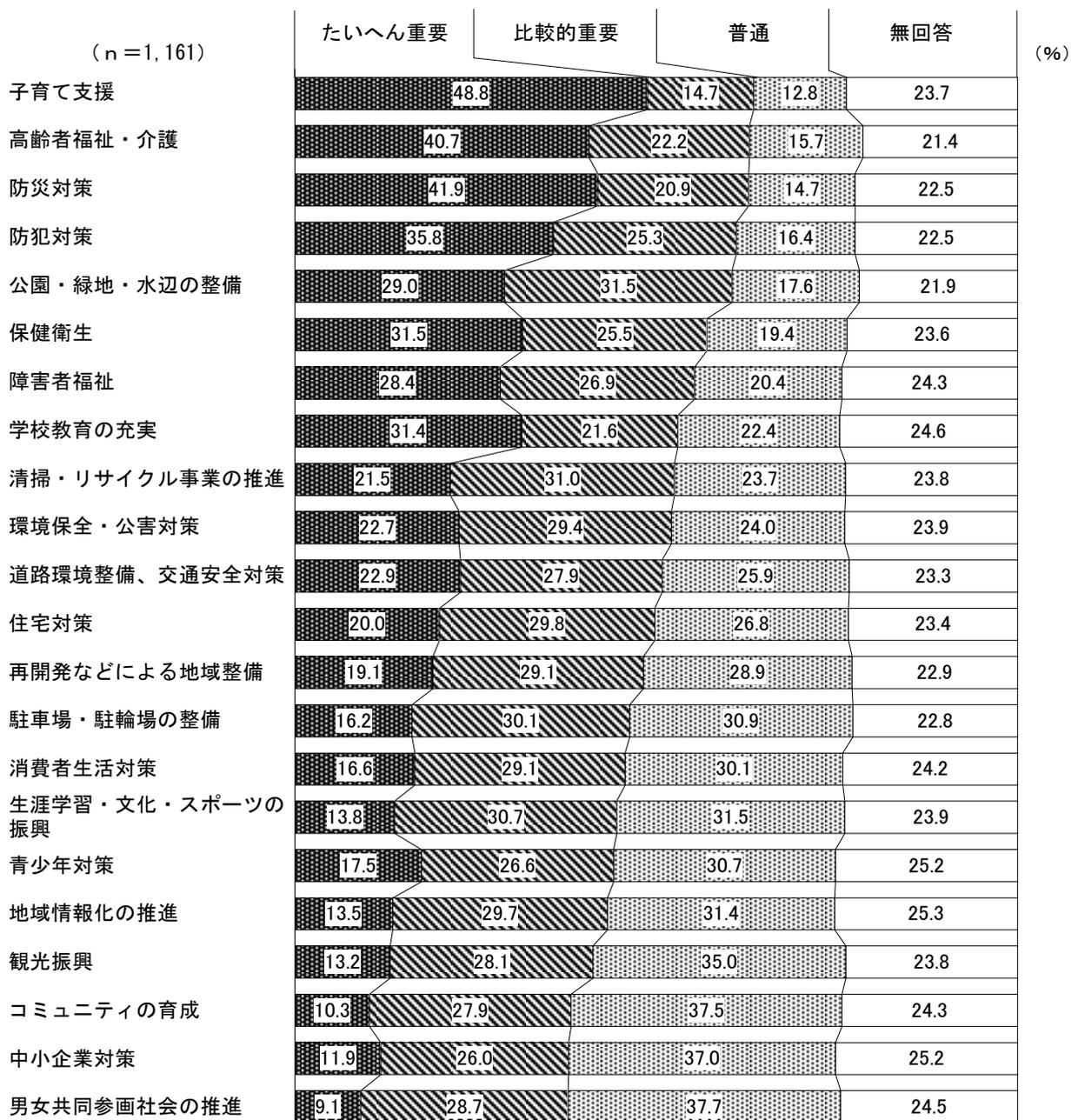
「たいへん重要」と「比較的重要」の合計を『重要』とした場合の、上位5項目と下位5項目は次のようになっている。

上位

- ①子育て支援 (63.5%)
- ②高齢者福祉・介護 (62.9%)
- ③防災対策 (62.8%)
- ④防犯対策 (61.1%)
- ⑤公園・緑地・水辺の整備 (60.5%)

下位

- ①男女共同参画社会の推進 (37.8%)
- ②中小企業対策 (37.9%)
- ③コミュニティの育成 (38.2%)
- ④観光振興 (41.3%)
- ⑤地域情報化の推進 (43.2%)



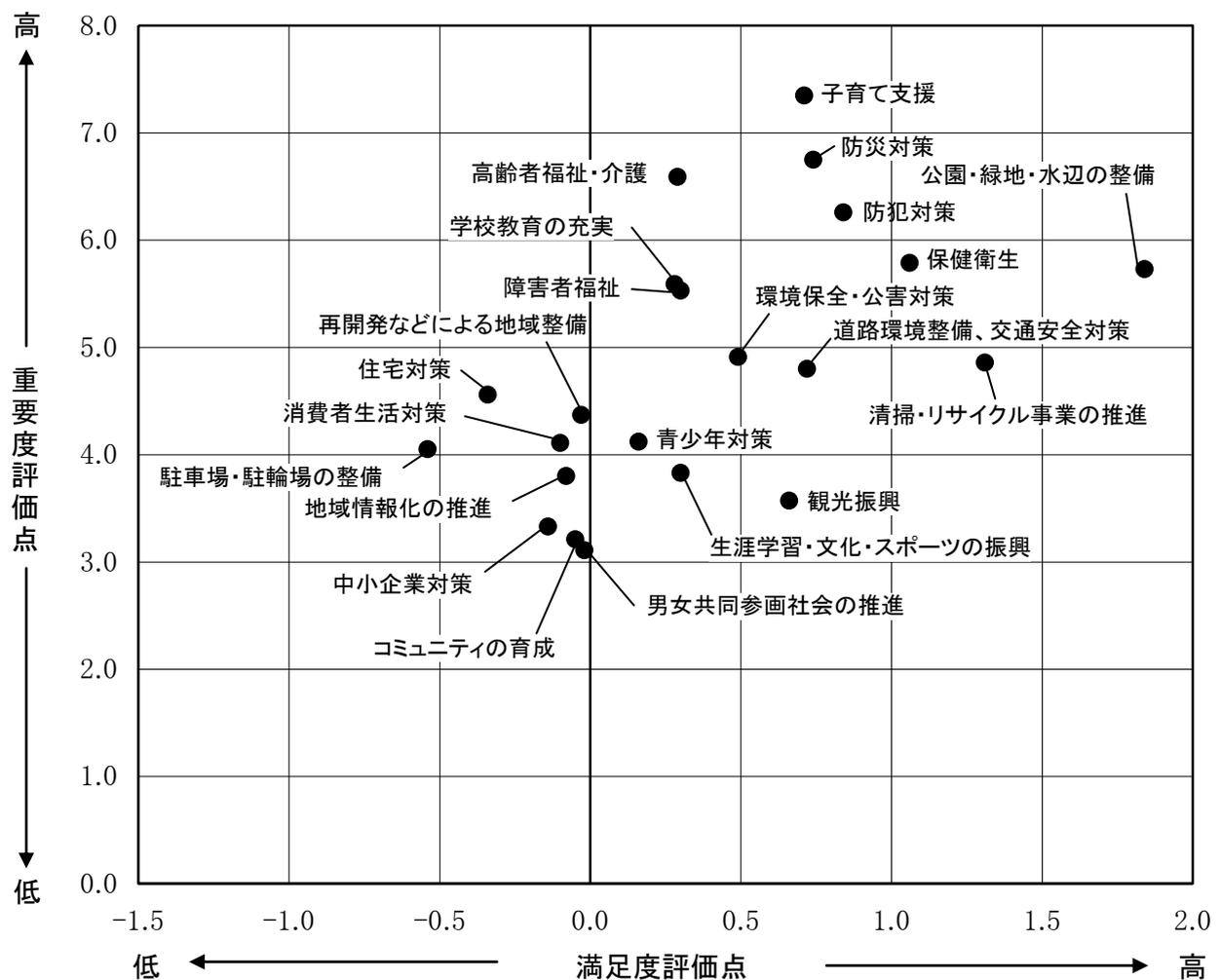
## ■ 区の施策の満足度と重要度の相関

次の図表は、加重平均値による満足度評価と重要度評価を相関させた散布図である。横軸が満足度評価点、縦軸が重要度評価点になっている。それぞれの算出方法は以下の通りである。

$$\text{満足度評価点} = \frac{(\text{「満足」の回答者数} \times 10 \text{点} + \text{「やや満足」の回答者数} \times 5 \text{点} + \text{「普通」の回答者数} \times 0 \text{点} + \text{「やや不満」の回答者数} \times \blacktriangle 5 \text{点} + \text{「不満」の回答者数} \times \blacktriangle 10 \text{点})}{(\text{回答者数} - \text{無回答者数})}$$

$$\text{重要度評価点} = \frac{(\text{「たいへん重要」の回答者数} \times 10 \text{点} + \text{「比較的重要」の回答者数} \times 5 \text{点} + \text{「普通」の回答者数} \times 0 \text{点})}{(\text{回答者数} - \text{無回答者数})}$$

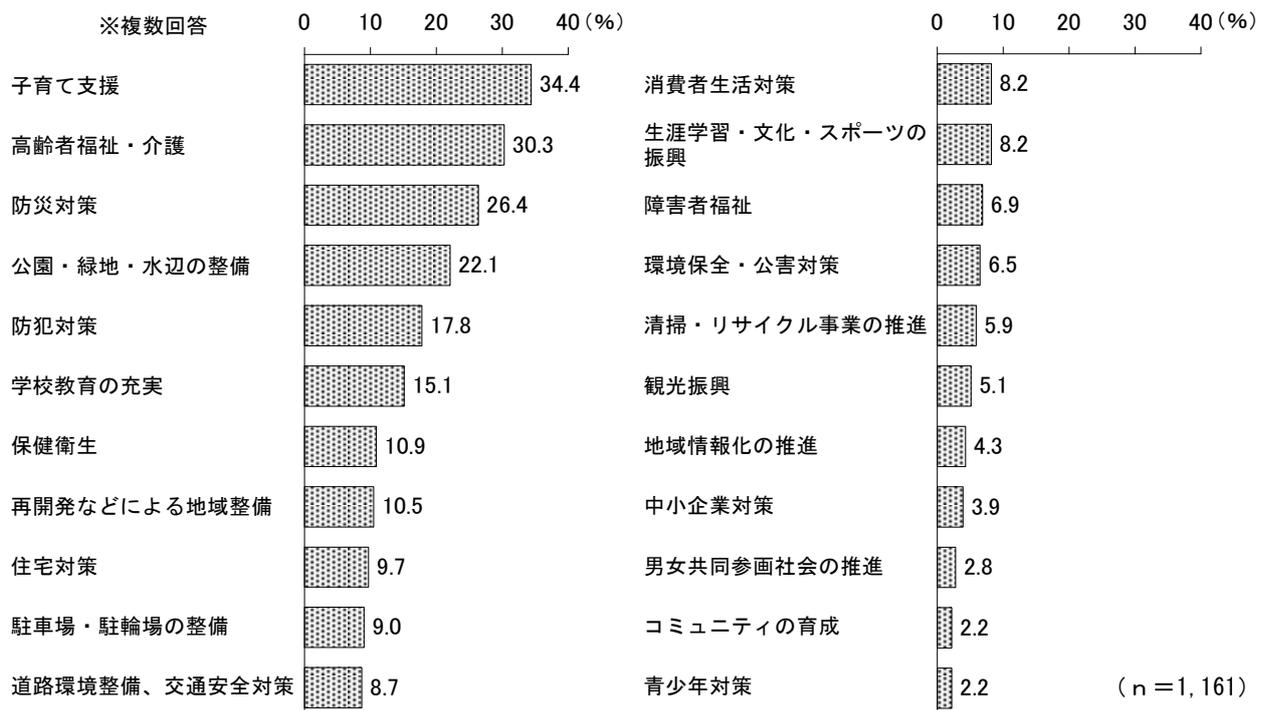
このグラフでは、満足度評価が低く、重要度評価が高い領域（左上方）にある項目が比較的住民ニーズが高いもので、今後の行政課題となるものと考えられる。



## ■ 区の施策への要望

「子育て支援」(34.4%)が3割台半ばで最も高くなっている。次いで、「高齢者福祉・介護」(30.3%)、「防災対策」(26.4%)、「公園・緑地・水辺の整備」(22.1%)、「防犯対策」(17.8%)などとなっている。

昨年の調査結果と比較すると、「子育て支援」は5.4ポイント、「公園・緑地・水辺の整備」は3.8ポイント、それぞれ増加している。一方、「防犯対策」は4.7ポイント減少している。



### 第50回 中央区政世論調査

令和3年2月

発行 中央区企画部広報課  
中央区築地1丁目1番1号  
03(3546)5222(直通)

実施 株式会社エスピー研  
千代田区飯田橋3丁目11番20号  
03(3239)0071

刊行物登録番号  
2-086